

## あなたの商品を宇宙実証しませんか？ ～革新的衛星技術実証プログラム～

SATテクノロジー・ショーケース2017

### ■ はじめに

宇宙航空研究開発機構(以下、「JAXA」という)は、民間企業・大学等による超小型の人工衛星を活用した新たな知見の獲得・蓄積、将来ミッション・プロジェクトの創出、宇宙システムの基幹部品や新規要素技術の軌道上実証実験などのための機会を提供する「革新的衛星技術実証プログラム」を平成27年度より開始しました。

本プログラムは、日本国の宇宙活動の基本となる『宇宙基本計画』上の「宇宙システムの基幹部品等の安定供給に向けた環境整備」の一環として、超小型の人工衛星を活用した基幹部品や新規要素技術の軌道上実証を適時かつ安価に実施するものです。

この初号機である革新的衛星技術実証1号機は、平成29年度の実証実験を目指し、開発中です。JAXAでは引き続き、2号機の実現を目指して実証するテーマを公募していますので、つくばの研究者や企業の方からの宇宙実証提案をお待ちしています。

### ■ 活動内容

革新的衛星技術実証プログラムでは、国内の機関が開発した部品やコンポーネント・機器をJAXAで人工衛星に搭載し、1年程度宇宙空間で運用を行います。宇宙空間の運用で得られたデータは、提案者に提供をします。

#### 1. プログラムの目的

a. 衛星のキー技術の宇宙実証により、宇宙分野を支える技術基盤・産業基盤の持続的な維持・発展、衛星産業の国際競争力の獲得・強化に繋げる。

b. 新規の民間企業等参入のため、定期的な相乗り打ち上げ機会の確保によりハードルを下げることで、宇宙利用拡大を促進する。これにより新規参入する民間企業等との相互利用・連携が進み、新たなイノベーション創出にも繋がる。

c. チャレンジングかつハイリスクな衛星技術/ミッションの開発・実証できる機会を確保することで、宇宙産業のベンチャービジネス促進や宇宙分野における、より優秀な人材の育成を図る。

#### 2. JAXAとしての目的

i. 国や産業界の課題に対応しつつ、将来を先読みして、新たな利用を拓くミッションや産業競争力のあるシステム/サブシステムの創出に繋がる技術やアイデアの実証を行う。

ii. リスクは高いが、日本の宇宙技術の発展と宇宙産業の

国際競争力の確保に高い成果の期待される「革新的」な技術を優先的に取り上げ、実証を行う。

#### 3. 公募する実証テーマ

##### ● 部品

100kg級衛星に搭載可能な電子・機械部品

##### ● コンポーネント(機器)

100kg級衛星に搭載可能なコンポーネント

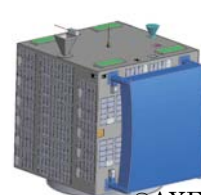
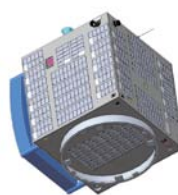
##### ● 超小型衛星システム

超小型衛星(100kg程度まで)

CubeSat (3Uまで)

### ■ 関連情報等(特許関係、施設)

打ち上げロケット: 強化型イプシロンロケット(平成28年12月初号機打ち上げ)



©AXELSPACE

### ■ 革新的衛星技術実証プログラム

詳細は以下のJAXAホームページに掲載されています。  
革新的衛星技術実証 超小型衛星の打ち上げ・放出機会提供

<http://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/satellite/>

代表発表者 香河 英史(かがわ ひでし)

所属 宇宙航空研究開発機構  
革新的衛星技術実証グループ

問合せ先 〒305-8505 茨城県つくば市千現2-1-1  
筑波宇宙センター 研究開発棟4F  
TEL: 050-3362-7192 FAX: 029-868-2966  
E-mail: Kagawa.Hideshi@jaxa.jp

■ キーワード: (1) 宇宙  
(2) 人工衛星  
(3) 宇宙実証

#### ■ 共同研究者:

鷲谷正史、遠藤美穂、高橋康之、高井元  
宇宙航空研究開発機構  
革新的衛星技術実証グループ